

いなべ市議会だより

第49号

平成28年5月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会

INABE



3月定例議会

臨時議会	P 2
平成28年度当初予算と主要事業	P 4
4会派が代表質問	P 12
11人が一般質問	P 17
市民の声	P 23
クイズ当選者	P 25
訪問レポート	P 26

中里小学校

【関連記事が裏表紙にあります】

第1回 臨時議会（2月1日）

全会一致で否決

「防災情報伝達システム整備工事契約変更」議案



防災ラジオの全戸配布や屋外スピーカーなどを設置する事業の工事請負契約を、議会に諮らないまま、変更していたものを、議会の承認を得るために臨時議会に提案されました。本来、この議案は変更した時点で議会へ報告すべきものでした。

第2回 臨時議会（2月12日）

減額修正して提案され、可決

「防災情報伝達システム整備工事契約変更」議案



反対 VS 賛成討論

防災情報伝達システム整備工事契約変更について

反対討論

清水 実

市職員の姿勢では、同じことを起こすおそれがある

自治会長や地域の市民にFMのことで協力してもらおうという姿勢が職員にない。今後、いろんな問題

が起こっても、また同じようなことを繰り返すおそれがある。

賛成討論

清水 隆弘

市民の安心・安全なまちづくりに防災情報伝達システムは必要だ

前回の臨時議会では、「ならぬものはならぬ」で保守・革新、思想信条、政治的スタンス、そういったことを抜きにして、議会人として、全会一致で否決した。

今回は執行部も反省し、市長の減給、副市長以下

担当課長、前総務部長も給与の一部を自主返納する。防災情報伝達システム整備工事は市民の安心なまちづくりのために必須だ。新年度から総務部長が一元管理者となって再発を防止する。執行部の姿勢を評価し、賛成討論とする。

反対討論

岡 恒和

第3者機関で調査検証を

なぜ起こったのかを明らかにしないことには、再発防止はできない。事業の計画、企画、施工がどこが主体で、どのようになされたのか明らかにされていない。

今回は、地方自治法、市条例違反という重大な議案になる。この根本的な問題を明らかにしないまま

済ませれば、今度は市民に対する説明責任は議会であり、議員にある。

第三者機関を入れて調査すべき。第三者機関による検証をしないままでは賛成するわけにはいかない。

市民の安全・安心を守ることを最優先に早期の完成を望む

議会の承認を得ず進められてきたことは、許しがたいことであるが、これまでの議会また委員会において説明を受け、関連予算は承認されている。さらに、また今回のことを教訓に、職員研修など実施するということもある。防災情報伝達という市民の生

命・財産を守る大事なシステム工事であり、不感地帯の解消に繋がる工事である。行政としてしっかりチェック機能を確立し、二度とこのようなことがないよう強く要望し、市民の安全・安心を守るということを最優先して早期の完成を強く望み賛成する。

断腸の思いで賛成しかねる

先日より誠意ある丁寧な説明を受けてきた。この提案に対していまだに物差しの違いを実感している。市民の感情を鑑みると、まことに断腸の思いで

はあるが、賛成しかねる。市政存続のために、関係部には私の反対一票をぜひ理解してもらうことを願って反対の討論とする。

市長給与 10%、3カ月の引き下げ動議を提出



発議者 水谷治喜

賛成者 伊藤正俊 多湖克典 新山英洋

原案は、第1回臨時会で否決された議案について、市長の責任と反省を明らかにするため、市長の給与の15%を1カ月減給するものだが、予定価格1億5000万円以上の工事の請負契約を変更するには、地方自治法及びいなべ市の条例により、議会の議決を経る必要がある。議決なしに変更契約がされ、工事が発注、その

一部が完了している事実が発覚した。

事実が発覚してから、3カ月間、議会に報告もなく放置したことは議会軽視である。市長の責任を明らかにするため、議会に対して報告を怠った3カ月間の市長の給与を減額しようとするものである。

議案の審議結果一覧表

全員反対の案件、賛成と反対が分かれた案件

議長 川瀬利夫は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対

会 派				創風会					政和会					いなべ未来					いなべ市議団	日本共産党	無会派		
議 案 名	付託委員会	審議結果	伊藤 智子	清水 隆弘	位田まさ子	伊藤 弘美	種村 正己	小川 克己	新山 英洋	多湖 克典	伊藤 正俊	川瀬 利夫	水谷 治喜	小川 幹則	鈴木 順子	岡 英昭	林 正男	岡 恒和	衣笠 民子	清水 実	川瀬 幸子	渡邊忠比古	
第1回臨時会	工事請負契約を変更する契約の締結について（防災情報伝達システム整備工事）	委員会付託省略	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	工事請負契約を変更する契約の締結について（防災情報伝達システム整備工事（2期工事））	委員会付託省略	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	
第2回臨時会	市長の給与の特例に関する条例の制定についてに対する修正案（市長給与10%、3カ月引き下げ）	—	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	—	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	
	市長の給与の特例に関する条例の制定について（市長給与15%、1カ月引き下げ）	委員会付託省略	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	—	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
	工事請負契約を変更する契約の締結について（防災情報伝達システム整備工事）	委員会付託省略	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	

過去最大規模

一般会計

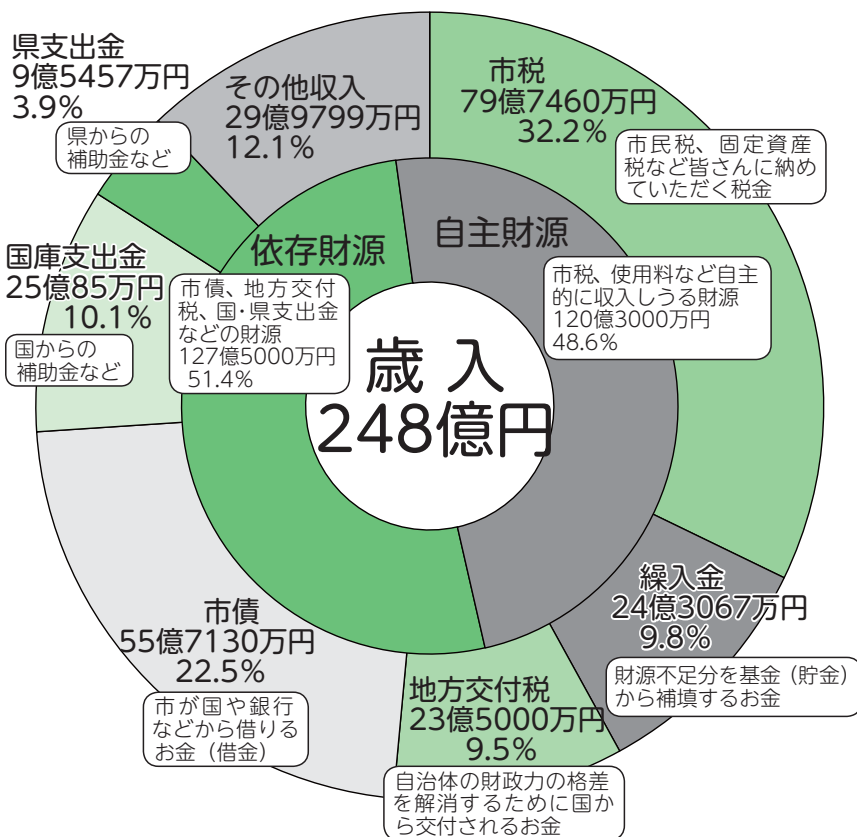
庁舎建設事業

新庁舎周辺整備実施設計業務、新庁舎オフィス環境整備計画業務、用地購入等

事業費 5億2000万円



新庁舎完成予想図



員弁東保育園新園舎建設事業

新園舎設計業務、用地購入等

事業費 2億1565万円



現在の員弁東保育園

障がい者総合支援センター整備事業

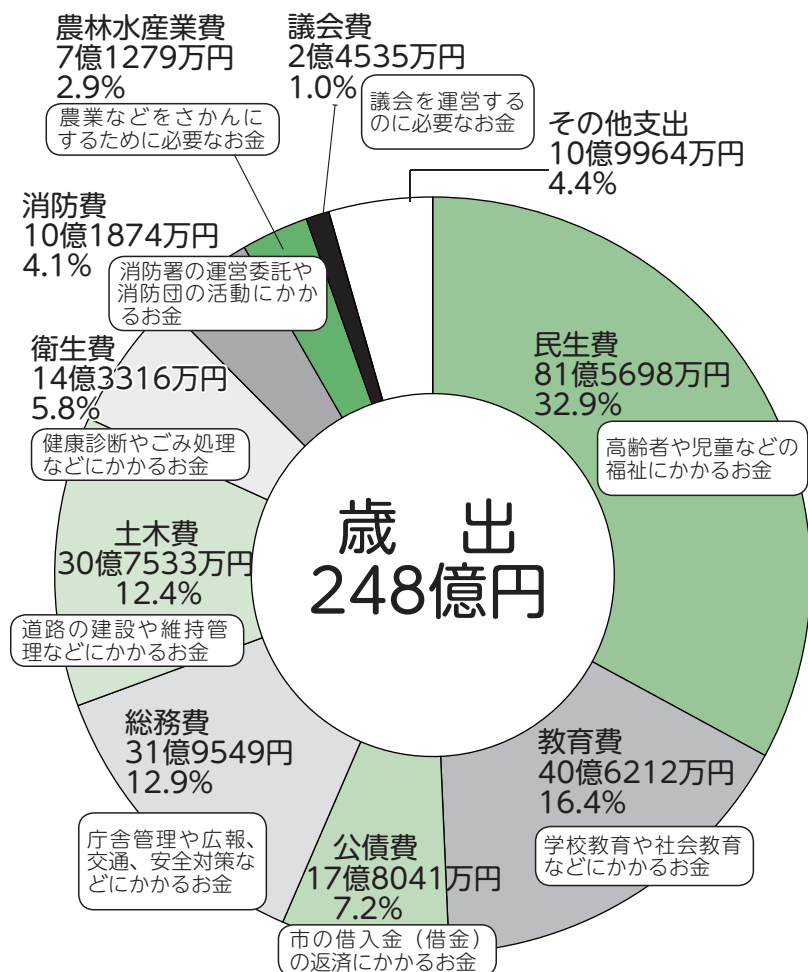
障がい者総合支援センター新築工事

事業費 4億4712万円



障がい者総合支援センター完成予想図

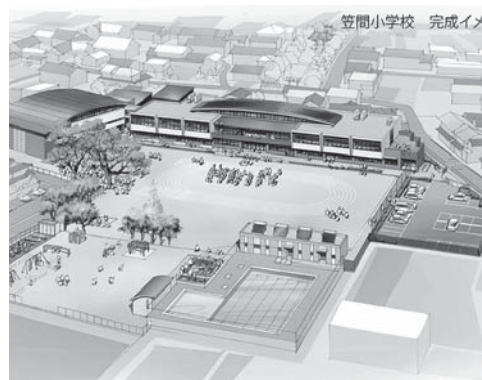
予算総額 248億円



笠間小学校建設事業

新校舎および体育館の新築工事、外溝、周辺整備等

事業費 9億1940万円

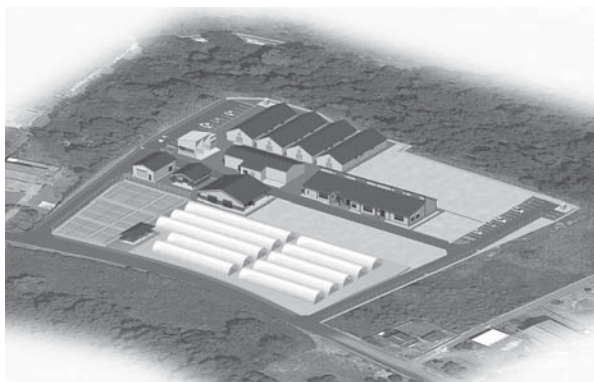


笠間小学校完成予想図

農と福祉の活性化プロジェクト事業

立田地区障がい者就労支援施設新築工事

事業費 6億4498万円



障がい者就労支援施設完成予想図

いなべ学び舎事業

教育環境の支援を必要とする家庭の子どもたちのために、退職教員や地域の人などによって学習支援を行っている。

事業費 939万円



平成 28 年度から事業の開始が予定されている三里小学校

常任委員会での主な質疑

総務

大安町農村情報連絡施設条例等を廃止する条例

Q この条例は、いなべ市防災情報伝達システムの整備に伴い、旧町が設置した施設を廃止するため、その関係条例（大安町農村情報連絡施設条例、藤原町無線放送施設の設置及び管理に関する条例、北勢町防災行政無線施設設置条例）を廃止することであるが、現在、FM放送で不感地帯になっている世帯数はどれくらいあるのか。

A 世帯数は調べていない。屋外拡声子局については、北勢と藤原を合わせて31カ所設置する。

Q 不感地帯がなくなるのは、いつ頃になるのか。

A 平成28年度に工事費を計上し、平成28年9月末までの完成を予定している。

Q 藤原町内はFMの防災情報伝達システムが完成するまでは、現在の同報無線を運用していくのか。

A 工事が完成するまでは、現在の同報無線について運用できるよう自治会長会において要望を受けている。切り替えるまでは運用をしていく予定。

平成28年度一般会計予算

Q グリーンクリエイティブいなべ推進事業とグリーンツーリズム推進事業の違いは。

A グリーンツーリズムは、藤原地区と北勢地区の5地区で中山間地の振興を目的に地域の人々が地域の食べ物や文化を活用しながら交流し、エリアを各地区に限定して活性化を図っていくというもの。また、一般的には都市の住民を呼んで、その地域に滞在し、交流をして地区の魅力づくりをしていくというもの。

グリーンクリエイティブいなべは、自治会単位や集落単位ではなく、いなべ市全体の取り組みで、いなべの資源である自然から生み出される農と食やアウトドアなどに都会の方にも魅力を感じてもらえるように磨き上げて価値を高めていく。交流人口を増やして、大きな意味での地域づくりに取り組むもの。

Q タブレットの使用について、十社小学校をモデル校として進めているが、今後の展開は。

A もともと各小学校にはパソコン教室があり、パソコンの入れ替え時期に合わせ、タブレットを導

入。今後、十社小学校をモデルにして、学校の意見を聞きながら、各小学校にも展開していけたらと考えている。

Q 地域おこし協力隊募集事業の予算額97万円の費用内容は。

A 地域おこしの隊員を対象とした研修会などに参加する旅費。また、地域おこし協力隊に応募する前に実際に地域活動などを体験するための宿泊費。そして、PR関係のパンフレットの印刷なども考えている。費用の97万円の全額は国から特別交付税措置される。

Q 地域おこし活動の成果をどのように評価しているのか。

A 各地域おこし活動に対して募集時に一定の成果目標などをあげ、それに基づいて応募してもらっている。また、今までの総括と照らし合わせて、より良い地域活動ができるように一緒になって取り組んでいく。

平成 28 年度一般会計予算

Q 生活困窮者支援事業のうち住宅に関するものについて、実績がなかったということであったが、ニーズがないのか、適切な住宅物件がないのか、その理由は。

A 住居確保給付金という制度は、例えば失業によってアパートを退去させられる場合、そのアパートの家賃相当額を本人に支給し、その間（3カ月から延長して6カ月まで）に職を探して再度職に就いてもらう制度。最近の失業者の状況は、失業イコール生活困窮という状況であるので、この制度（住居確保分）だけで対応できるケースは少なく、平成27年中は対象者がいなかった。

Q 「障がい者総合支援センターそういん」は、非常に相談件数が増して対応に苦慮し、3カ所に分散するということであるが、内容は就労支援についての相談が多いのか。その解決策は実績として出ているのか。

A 平成26年度の実績は2市2町全体で電話相談や面接を合わせると1万3618件の相談があり、そのうち、いなべ市だけで4,450件の相談があった。相談内容は就職、虐待、将来の不安に関するものが多い。就労については、「障がい者総合支援センターそういん」が就労先を探し、就労後、見守りまで行っている。

Q こども総合支援センターの実現に向けた取り組みとは。

A 現在の発達支援課を発展させて、健康推進課、保育課、学校教育課などで多くなっている相談事業などをできるだけ統合する。職員も配置し、その中心的機能を行うセンターとして進めている。現在、進めているチャイルドサポートの事業をより機能的に運営できるようなセンターを目指している。

Q 子どもと母親の健康の確保として、新規事業で助産師訪問事業を予定しているが、その事業内容は。

A こんにちは赤ちゃん訪問について、いなべ市は全国に先駆けて取り組んできた。専門の相談は保健師だけで、答えられない部分があるので、出産直後の悩みなども含めて助産師の訪問を実施する。訪問の時期は、産後1カ月までの間とし、該当の家庭に保健師から電話を入れ、聞き取りを行い、助産師も合わせて訪問できるような体制をとっていきたい。

Q ほくせい保育園が新築され、石榑保育園も大規模改修を行う予定である。3歳児からの対象児で保育園に入れない、未満児も定員の関係で就園できないという待機児童は、この新築と大規模改修で解消されるのか。

A 4月1日現在、これまでも毎年いなべ市では待機児童の発生はしていない。保育園の新築と大規模改修は、現在の保育事業を今後も継続してニーズに沿った保育をしようというもの。年度途中の未満児の受け入れは、保育士の確保が困難な場合、少し待ってもらうケースもある。

Q 私立保育園整備補助事業で石榑保育園の改修には、国、県の補助金はあるのか。また、市の単独補助金については補助要綱があるのか。

A 石榑保育園改修の建物の部分について、私立保育園の場合には国が2分の1、市が2分の1の補助がある。設計に関わる部分については、市単独補助で市の補助要綱に基づき4分の3を補助し、残りの4分の1は事業主が負担する。

Q 来年度から始まる小中一貫教育の新しい学校づくりという考え方は。また、どのようなものを目指していくのか。

A 新しい学校づくりの大きな柱として、「生き抜く力」、「生き合う力」、「生き拓く力」の3つの柱をつくっている。文部科学省が言っている生きる力は学力、体力、心の育成であるが、それに加えて生き抜くとしたのは、どんな想定外なことが起きても、いなべの子どもたちは生き抜いてほしいという願いを込めて生き抜く力とした。また、生き合う力は、これまでいなべが大切にしてきた集団づくり、友達をつくったり、仲間と関わったり、いろんな年代の人と人間関係を結んでいく、力をつけたいというもの。

生き拓く力は、未来を見据えて自分の生き方を考えていく、いなべで育ったことを誇りに思い、いなべ市に対して将来貢献したいと思うような人材を育てていきたい。

産業建設

農業委員会条例の一部を改正する条例の制定

Q これからは農業委員の選出方法を公選制から議会の同意を経たうえで市長の選任制に変更するが、どのように農業委員、農地利用最適化推進委員を選任するのか。

A 農業委員を選ぶ場合には、首長はあらかじめ農業者が組織する団体等に対し候補者の推薦を求め、合わせて公募も行う。現在、認定農家を中心とした各町の振興部会に相談をしている。これまでの地区割りを重視しながら、その中で農業委員と最適化委員をバランスよく、これまでの選定方法を重視しながら選んでもらう。

また、仕事内容もこれまでどおり農地法の各地区の現場確認もしてもらう関係上、それぞれの地域性を重視しながら依頼する。

Q 農業委員の公募方法および選定方法は。

A 公募はホームページで行い、農業委員15人は公募と推薦を合わせて行う。

選定方法は定数どおりであれば、そのまま決定するが、定数を超えた場合は選考委員会を組織し、その中で現在の地域性や経験、職務に対する意欲等を考慮しながら決定する。

Q 農業委員には何らかの資格が必要か。また、年齢制限はあるのか。

A 農業委員は、①農業委員が担当する区域内に住所を有する20歳以上の者、②1,000㎡以上の耕作に従事している者、③市の職員でないこと、という資格要件を規則の中で設けようと考えている。

平成 28 年度一般会計予算

Q 中心市街地活性化事業の計画とアートツーリズム拠点整備事業等の事業内容は。

A 中心市街地と位置づけしているのは、阿下喜地区で、平成25年度から歴史あるまちづくりとして取り組んでいる。

阿下喜の西町の空き倉庫を若手工芸家たちの工房や交流カフェとして創業。活動の拠点となるような阿下喜倉庫を整備する。工事請負費が850万円、使用料及び賃借料が7万円。

Q 森林環境林整備事業委託料で実施する木の伐採箇所は。

A 東貝野生産森林組合と平成17年度から20年間管理協定を締結し、総面積は32ha、毎年6ha前後の間伐を実施している。1サイクル5年で伐採をし、広葉樹を増やし、災害に強い山をつくる。この財源は、森と緑の県民税の交付金を100%活用している。

Q 市が道路除草作業として実施する箇所の基準は。

A 基準は1,000㎡以上とし、毎年、除草作業を実施する路線はほぼ決まっている。主に幹線道路2車線で交通量が多い箇所を実施し、危険なため業者委託しているが、最近は地元の団体に委託しているところもある。

Q 下野尻瀬木線の野尻橋修繕工事費5,000万円を予算計上しているが、工事の内容は。

A 長寿命化事業計画として橋の延命処置（修繕工事）を実施。法律化され5年に1回は点検をしている。その5年目にあたるのが野尻橋、鎌田橋になる。架け替えになると多額の費用がかかるので、延命処置として修繕工事に対応している。

市道路線の認定

Q 市道路線を認定する基準は。

A 市道は起点と終点があり、その終点が国、県または市の道路に接続していること。また、市道に認

定しようとする敷地が地方公共団体の所有地であること。4m以上で舗装がされていること。

反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の討論があった議案は次のとおりです。

平成28年度一般会計予算



平成28年度の歳入（収入）・歳出（支出）の予算を計画するものです。

賛成討論

伊藤 弘美

人口増を目指す期待の大きい予算

本予算は過去最大規模で『新政いなべ市誕生』を目指し、新庁舎建設がスタート。来年4月に開校する藤原小学校でいなべ市最初の小中一貫教育が始まる。順次、小中一貫教育に移行。幼保一体となった幼児教育の推進、子育て支援、弱者対策として障がい者福祉、高齢者福祉、また市民の健康増進を図るため、保

健センターの建設。災害時の緊急避難所や防災設備の整備、また東海環状自動車道開通に併せ、幹線道路、接続道路の整備を行い企業誘致の推進。さらに空き家対策を推進し、人口増を目指す取り組みなど、期待の大きい予算である。行政一体となって慎重に議論を深め、手拔かりのない予算である。

反対討論

衣笠 民子

新庁舎建設はいったん白紙に戻し、住民の実態に沿ったくらし、命応援を

新庁舎建設は、にぎわいの森だけが問題ではなく、そもそも場所選定から市長の独断であることが分かった。住民の理解も不十分である。新庁舎建設はいったん白紙に戻し、住民とともに必要性から論議すべき。くらしが大変な今こそ、合併時の約束で実行してき

た国民健康保険料、上下水道料金、保育料を一般会計からの繰り入れで低い町の水準に戻すべき。観光に頼らない、くらし応援で移住者、定住者を増やす施策に取り組むよう提案する。

賛成討論

伊藤 智子

市民とともに全力で地方創生に取り組むことが急務

いなべ市の地方創生を促進するために「グリーンクリエイティブいなべ」や「にぎわいの森」の役割りは大きく今その歩みを止めることはできない。行政や議員にはできない部分は外部に協力を求めながら一つ

つ実行し、推進していく必要がある。今後、私たちはいなべ市の繁栄を願い、市民とともに行政も議員も一丸となり、前向きに全力で、地方創生に取り組むことが、必要不可欠で急務と思われる。

平成28年度一般会計予算に対する修正動議



まちづくりプロデューサー謝礼金と街づくりプロデューサー謝礼金を削除しようとする修正

賛成討論

新山 英洋

「にぎわいの森」計画に疑問

地元の人たちが危機感を持つことにより立ち上がり、事業を自発的に進めることが重要。

コンサルタントはそのサポートに回るべきで、主体になることは本来の形ではない。

事実、「にぎわいの森」においては地元業者が一切加わっていない。むしろ、最初から地元業者には加わって欲しくないというスタンスである。この計画自体に疑問を感じる。

臨時議会

当初予算

常任委員会

討論

総括質疑

審議結果

代表質問

一般質問

市民の声

クイズ

平成27年度一般会計補正予算（第6号）



平成27年度予算に地方創生加速化交付金事業費を計上するものです。

賛成討論 清水 隆弘

交流から定住へと「選ばれるいなべ市」になるために必要な予算

事の本質を矮小(わいしょう)化してはいけない。やりっぱなしの行政、頼りっぱなしの民間、無関心の市民、これが三位一体になれば地方創生は必ず失敗すると地方創生担当大臣は言った。そうならないよう第三者評価を行う。民間も大学も知恵を出し、市民も巻き

込んだグリーンツーリズム、阿下喜、中心市街地活性化だ。持続可能な市となるように、新庁舎建設を千載一遇のチャンスとして、果敢に挑戦しようとする予算。座して死を待っていたのではいけない。

平成27年度一般会計補正予算（第6号）に対する修正動議



グリーンクリエイティブいなべ推進事業費と広域観光圏形成事業費を減額しようとする修正

賛成討論 新山 英洋

コンサルタント委託料の算出根拠が不明

補正予算では委託料となっているが、「謝礼金」という科目に対し十分な説明、支出算出根拠がない。

謝礼金とは報奨金と同様、その事業に対する成果への対価である。その成果や評価を第三者が行っていないことに疑問を感じる。コンサルタントに対して不信

感があるわけではないが、全国的にコンサルタントの問題が多発している。コンサルタントのほとんどは、自らのリスクで投資して、地域で事業を立ち上げたという経験が皆無に等しい。

総括質疑 Q & A

員弁西放課後児童クラブ 室建築工事に関して

Q 現在在籍する児童数と職員数は。また員弁西小学校区と員弁東小学校区の児童は同じ敷地内で別々に運営されるのか。

A 員弁西、東小学校区合わせて、児童が53人、職員は常勤6人と非常勤1人。工事が完成するまでは間仕切り等で分けて行う。

立田地区障がい者就労支援 施設建築事業費に関して

Q 事業費の内訳及び立田地区の活性化との関連は。

A 立田地区の、農と福祉の活性化事業として整備するもので、事務所と収穫作業棟が1棟、シイタケの仕込み棟が1棟、育成用ガルバハウス棟が4棟、及び外構工事、設計管理委託料、備品購入費など。

土木費、道路橋梁費に 関して

Q 保守管理委託料の予算額及び委託先、委託内容は。

A 4,384万9000円で道路維持修繕として市内業者と単価契約している。委託内容は自治会要望から側溝整備清掃、路肩整備、道路陥没等小規模修繕工事となっている。

福祉バス運行事業に関して

Q 委託料の内訳と今後さらに安全で利用しやすい具体的な取り組みは。

A シルバー人材センターに4,692万2000円と三岐鉄道には2,430万円で委託している。利便性向上のため自治会や利用者の要望で、可能な限りバス停の新設や移設、ルート延伸、発着時間の変更を行う。安全運行計画書に基づき、運転手の健康状態など安全運行に努めている。

議案の審議結果一覧表

賛成と反対が分かれた案件

～ 下記以外の31案件は全員賛成で可決しました ～

議長 川瀬利夫は採決に加わらない。 ○は賛成 ×は反対 (付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会)

会 派			創風会						政和会					いなべ未来				いなべ市議団	日本共産党	無会派		
議 案 名	付託委員会	審議結果	伊藤智子	清水隆弘	位田まさ子	伊藤弘美	種村正巳	小川克己	新山英洋	多湖克典	伊藤正俊	川瀬利夫	水谷治喜	小川幹則	鈴木順子	岡英昭	林正男	岡恒和	衣笠民子	清水実	川瀬幸子	渡邊忠比古
農業委員会条例の一部を改正する条例の制定について	産	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
平成27年度一般会計補正予算（第5号）	総・教・産	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
平成28年度一般会計予算に対する修正案	－	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	－	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
平成28年度一般会計予算	総・教・産	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	－	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○
平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	教	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
平成28年度一般会計補正予算（第1号）	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
平成27年度一般会計補正予算（第6号）に対する修正案	－	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	－	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×
平成27年度一般会計補正予算（第6号）	総・産	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	－	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
T P P協定を国会で批准しないことを求める請願	産	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×
副市長の選任につき同意を求めることについて	委員会付託省略	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

平成28年度一般会計予算に対する修正動議

いなべ市の単独予算から、まちづくりプロデューサー謝礼金1,980万円、また、街づくりプロデューサー謝礼金397万円が予算化されている。この謝礼金は、2件とも同一のコンサルタントに対してである。そもそも、このような多額の謝礼金とは何事であるか。このような予算を堂々と提案してくる当局に対し不信感を抱かざるをえない。謝礼金としての説明、支出算出根拠にも納得できない。

発議者 水谷 治喜
賛成者 伊藤 正俊 多湖 克典 新山 英洋



平成27年度一般会計補正予算(第6号)に対する修正動議

総務費から、にぎわいの森活性化事務事業委託料1,975万円、また、商工費から、中心市街地活性化事業397万円が予算化されている。そもそもしなべ市にとっての地方創生とは何か。全国的にコンサルタントの問題が多発している。地域に合った活性化事業を地

域と共に考え、アドバイスすることがコンサルタントの仕事ではないか。成功地域の取り組みとは似て非なる「劣化コピー」を補助金頼りにつくれば、失敗して負の遺産となり、地域をさらに衰退させてしまう。



臨時議会

当初予算

常任委員会

討

論

総括質疑

審議結果

代表質問

一般質問

市民の声

クイズ

代表質問

施政方針を問う

4人が登壇

代表質問は答弁を含めて一人あたり40分＋（5分×所属議員数）を持ち時間として、その範囲内で行います。要約して掲載しています。

小川 克己.....13

1. 杜の庁舎について
2. 北勢線の運営支援について
3. 空き家の活用について

水谷 治喜.....14

1. 「にぎわいの森」は、市の施策として本当に必要か
2. 有害鳥獣の焼却施設の建設について
3. 地域おこし協力隊制度の活用について

林 正男.....15

1. 空き家対策について
2. 地方創生の取り組みについて
3. 財政状況について

衣笠 民子.....16

1. 新庁舎建設を問う
2. 移住促進策を問う
3. 新庁舎建設に伴う各施設について問う

いなべ市議会 会派一覧表

(3月末現在)

	会 派 名	議員数	代 表 者	所 属 議 員		
1	創 風 会	6	小 川 克 己	小 川 克 己	種 村 正 巳	伊 藤 弘 美
				位田まさ子	清 水 隆 弘	伊 藤 智 子
2	政 和 会	5	水 谷 治 喜	水 谷 治 喜	川 瀬 利 夫	伊 藤 正 俊
				多 湖 克 典	新 山 英 洋	
3	い な べ 未 来	4	林 正 男	林 正 男	岡 英 昭	鈴 木 順 子
				小 川 幹 則		
4	日本共産党いなべ市議団	2	衣 笠 民 子	衣 笠 民 子	岡 恒 和	
	無 会 派			清 水 実	川 瀬 幸 子	渡 邊 忠 比 古

1. 「杜の庁舎」による「まち全体の活性化」は

2. 北勢線対策～中・長期的なビジョンは

3. 空き家減少への課題とその対策は



創風会

小川 克己

【質問1】①新庁舎への市民の期待感は高まってきているが、にぎわいの森に関しては、本来の目的が浸透していない。ローカルセンスを生かし、若者の定住促進を促すにぎわいの森を丁寧に説明していくべき。何が不安材料となっているのか。

②新庁舎・にぎわいの森により、後世にいなべの価値が上がることを望んでやまない。これらの事業は地方創生の自治体の生き残りをかけた挑戦。挑戦するからには勝たなければならない。新庁舎建設にける意気込みは。

【市長】①今後も詳しく説明する。未知なるもの、全国初のものへの不安がある。コンサルタント会社の試算によれば年間11万5千人の来場者、3億6500万円の経済効果が見込まれている。

②地方創生という大きな課題があるからにぎわいの森を考えた。一流の人を招き、一緒になってまちづくりをするきっかけとなればと考えている。いなべの潜在能力、アウトドア、食と農を生かせるような事業にしたい。

【質問2】①北勢線は、通勤、通学や市民の身近な交通手段として重要な役割を担っており、地域社会の基盤だ。市民が自立した日常生活の確保のみならず、まちづくりや地域経済の発展、観光、沿線地域間の交流促進のために必要な公共交通機関だ。平成15年度から10年間の財政支援、3年の延長、さらに今回3年の延長。北勢線の10年、30年先の中・長期的なビジョンは。

②三岐鉄道(株)に対して、経営改善への取り組み強化はどのように考えているか。

【市長】①自治体からの運営補助が中・長期的に減少していくよう、乗客の増加に資する西桑名駅の乗り継ぎ円滑化の早期着手など、協議会として他市町と連携して進める。

②乗客は微増で毎年改善しているが、赤字を黒字に転換するまではしていない。三岐鉄道(株)もリスクを負っており、自らの利益の中からも拠出しているので、今後も協議を続ける。



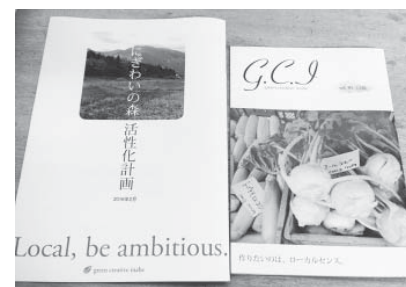
北勢線

【質問3】①平成25年に総務省が発表した総空き家数は全国で820万戸、総住宅数に占める割合は13.5%。本市の現状は。

②平成20年度からの空き家バンクの成約数は22件。民業圧迫との兼ね合いは。

【市長】①平成20年住宅・土地統計調査において1380戸、7.8%。

②不動産業者の仲介ではなかなか進まない。市場に出る前に問題がある物件が多いので市場に出られるよう市として一歩踏み込んだ形で手伝いたい。そうすることによって不動産業界もにぎわうと考える。



グリーンクリエイティブいなべ(GCI)の冊子



政和会

水谷 治 喜

1. 「にぎわいの森」は、市の施策として 本当に必要か

2. 有害鳥獣の焼却施設を建設すべき

【質問1】新庁舎建設と国のいう地方創生を絡めて、施政方針に、『庁舎周辺には全国屈指のパティシエやシェフを迎え、カフェやレストラン、地元の農産物や工芸品を一流のセンスで磨きをかけた店舗が集まる「にぎわいの森」を整備します』と記載されている。飲食店を誘致、オープン後3年程は、話題性や珍しさで、にぎわうであろう。

しかし、その先を行政が総合的にプロデュースできるものか。「にぎわいの森」の総合プロデュースを税金でする必要はあるのか。民間事業者が企画し、それを、行政が後押しをするのであれば、納得もできる。税金で店舗を建設までして、誘致することが行政がすべき地方創生につながる事業か。

すでに入店する店舗も決定しているようであるが、この事業のあり方に違和感を感じる。企業誘致と飲食店の誘致とは、まったく別物ではないか。地方創生に必要なのは、元々いなべにあるものを、輝かせる事と掘り起こすことが大切である。地方創生の名のもとに、本当に市が主体となってすべき事業なのか。

【市長】行政には、民間の商業の活性化についてはノウハウがないので、実績のあるコンサルタントに依頼する。一流のシェフ、パティシエの刺激のもと、地域の人たちと一緒にまちづくりをすることを提案している。

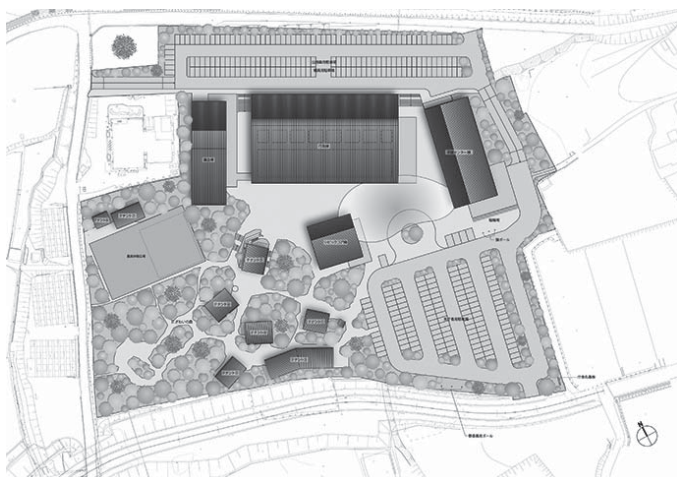


捕獲されたイノシシ

【質問2】緑豊かな自然に囲まれたいなべ市である。そこがいなべ市の魅力であるが、有害鳥獣の被害とセットになっている。この問題は、行政任せ、猟友会頼みだけでは解決する問題ではない。

やはり、被害地域全体と行政が一丸となって取り組むべきである。現状の問題は、捕獲後の処分と猟友会の会員の減少、高齢化であると思う。有害鳥獣の焼却施設を建設すれば、駆除に地域全体で取り組む集落も増加し、猟友会の負担も軽減されるのではないか。

【市長】有害鳥獣の焼却施設の建設に協力してくれる地域があれば建設する。



新庁舎配置予想図

1. 空き家対策を問う

2. 地方創生の取り組みは

3. 財政状況を問う



いなべ未来

林 正男

【質問1】空き家は、倒壊や衛生的に問題になる恐れがあり、防災・防犯の面からも問題。いなべ市も、高齢化・人口減少により空き家が増加し、町の衰退に繋がっている地域もある。

そこで昨年、京都産業大学・四日市大学との連携により、調査・研究や体験合宿などが行われた。

①学生による空き家の調査と活用は。

②移住相談窓口は、どのようにアピールし、具体的な規模及び取り組みは。

③空き家リノベーション事業で策定される計画や件数は。

④空き家倉庫リノベーション事業の対象物件数や具体的な計画は。

【市長】①提言を受けて、農家体験等のグリーンツーリズムの交流拠点として空き家の活用を検討。

②移住相談窓口からウェブサイトや東京などの都市で開催される移住フェアなどで全国に発信。

③県外から市内の空き家を改修して移住する人に、上限100万円の改修費用を補助。平成28年度は2件分を予算計上している。

④阿下喜地区の空き倉庫を改修し、芸術家の工房やカフェを設け、交流や創業支援の拠点を整備。現時点で3人の若者が関心を示している。

【質問2】①地方創生としていなべ市が取り組んでいるシティセールスの今後の方策は。

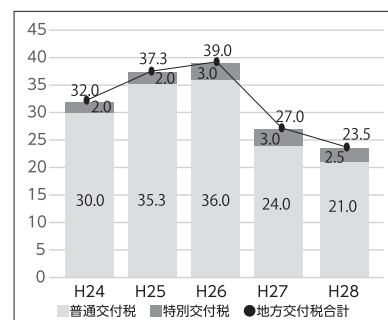
②グリーンツーリズムの今後の展開は。

③地域おこし協力隊の取り組みの結果、成果をどのように生かしていくのか、他地域への展開は。

【市長】①「いなべブランド」事業を推進し、自然、アウトドア、農と食をテーマに「グリーン・クリエイティブ・いなべ」事業を強化する。

②四日市大学、京都産業大学と連携し、鼎、川原等のモデル地区において、農家体験施設として空き家の活用等の実践的な活動を始める。

③活動の充実を図るとともに、地域にどのような成果を残せるのか考える。ニーズがあれば、新たな隊員募集・他地域への展開を進める。



地方交付税予算の推移

【質問3】市民税は今後も減少し、地方交付税についても年々減少することは確実。今日のような日本の経済状況を踏まえたうえで、10年後、20年後をしっかりと見据えて取り組んでもらいたい。

①市税及び交付金の現状を鑑みて、今後の対策は。

②公会計の改革の準備態勢は。

【市長】①将来の社会保障費などの増加に備え、財政力をさらに確保し、経費の削減等に努め健全な財政運営に努める。

②平成29年度までに整備を行う。



空き家調査



日本共産党いなべ市議団
衣笠民子

1. 新庁舎建設を問う

2. 移住促進策を問う

3. 新庁舎建設に伴う各施設について問う

【質問1】①新庁舎整備基本方針は、名古屋大学小松准教授とだれが、何回、どんな会議を経て策定したか。

②新庁舎建設アドバイザー事業の委託先決定方法は。

③場所を比較検討せず、市長が最初から阿下喜の現在予定地と決め、小松准教授に選定根拠の整理を依頼。基本方針や議会への説明で触れていないが、平成25年12月26日、平成26年1月8日付の「新庁舎の用地選定理由について(案)」に、迷惑施設整備からの理由とし「斎場隣接の土地所有者から資産価値の低下や売却ができないなどの声があるため、迷惑施設隣接地の場所を選定した」とある。市長が予定地を決め、さらに残地全てを買収しようとする理由ではないか。

【市長】①職員約100人から5回の聞き取り、全国の事例紹介、3回の打ち合わせを経て提案。

②石榑小学校建設時からいなべをよく知るのでお願いした。

③市の中心で、斎場も含めた形で判断。



奥の森が新庁舎建設予定地

【質問2】(1)①にぎわいの森事業の集客数や経済効果は。

②「若い女性」の来訪者数と訪れた「若い女性」で移住する割合は。

③コンサルタント業務の委託先決定方法は。

(2)効果ある移住促進策としては、子育て・子どもの育ち応援事業(学校給食の無料・約1億7000万円、就学援助対象者を拡充・約60万円、子ども医療費無料の所得制限撤廃・約300万円、全小学校を31人以下学級にするなどを実施)、いなべの教育をいなべブランドとして発信を提案してきた。東海環状線整備と連動し、子育て世帯の移住を促すと考えるがどうか。

【市長】(1)①年間11万5,000人の来場者と3億6500万円の経済効果を見込む。

②年齢別の移住人口は推計していない。出店予定の一流パティシエやシェフは根強いファンがおり、都市部からの来訪者がまちを散策し、いなべの新たな魅力に気づき、リピーターに、移住者になり活性化に貢献すると期待。

③最終的には市長が決定。(2)学校給食の無料は、毎年1億7000万円もの巨額の費用を要するため低所得者の補助にとどめたい。



現在の議場(大安庁舎2階)

【質問3】①保健センターは必要である。新庁舎建設と切り離し、土地開発公社で買収済みの総合福祉センター用地で早急に取り組んでは。

②議会を別棟で計画しているが、建設せず今のままでは。

【市長】①健康推進事業を行う行政棟や啓発や会議を行うシビックコアと密接な関わりがあり、分離は非効率で経費が増大。

②行政と隣接し一体感を持ち、連携や政策議論できる環境に。

一般質問

市政を問う

11人が登壇

一般質問は答弁を含めて一人あたり45分。会派の場合は人数を会派の持ち時間として、その範囲内で一人60分を上限に会派内で割り振っています。

要約して掲載しています。

伊藤 智子.....18

1. 真の男女協働のために
2. グリーンツーリズムと地域活性化について

清水 隆弘.....18

1. 「市職員力」のさらなる活用に向けて
2. 中学校の部活動について
～外部指導者の活用と留意事項～

位田まさ子.....19

1. FMいなべの運営に対し質す
2. 高齢化社会における市の取り組みについて

種村 正巳.....19

1. 旧総合福祉センター用地の活用について

伊藤 正俊.....20

1. 随意契約

岡 英昭.....20

1. 障がい児教育について
2. 選挙年齢引き下げによる政治教育について

鈴木 順子.....21

1. うつ病対策の充実について
2. 地域包括ケアシステムについて
3. 学習支援について

岡 恒和.....21

1. 市長の政治姿勢、手法を問う
2. 暮らしと命を支える施策について
3. 未来につなぐ施策について

清水 実.....22

1. ハルザキヤマガラスの駆除について
2. 藤原岳自然科学館の移転計画は
3. 継続事業である藤原鉱山アセス結果の標本譲渡について

渡邊忠比古.....22

1. マイナンバー制度について
2. 予算のもらえない通学、生活道路
3. ツアー・オブ・ジャパンについて

川瀬 幸子.....23

1. 市長の政治姿勢について
2. 地域活性化の取り組み
3. 教育行政について

臨時議会

当初予算

常任委員会

討論

総括質疑

審議結果

代表質問

一般質問

市民の声

クイズ



創風会
伊藤 智子

【質問1】女性活躍推進法の施行を前に本市の行動計画について。
①策定状況は。②市職員の女性の採用比率、管理職比率は。③女性の審議会、委員会への登用率と認識は。④市内中小企業の行動計画策定状況は。⑤中小企業主、労働者等への周知は。

【総務部長】①平成28年3月末までに策定、4月より職員に周知。
②33.3%、1.43%（1人）。
【福祉部長】③17.1%（平成26年）あて職などで男性が多い選考方法を検討していく。④把握していない。⑤現在していないが今後リンク等で周知、啓発する。

1. 真の男女協働を問う
2. グリーンツーリズム（農山村地域において自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動）と地域活性化を問う

【質問2】①グリーンツーリズムの取り組みは。②地域おこし協力隊とグリーンツーリズムの関係は。③グリーンツーリズムと新庁舎、にぎわいの森との関連性は。

【企画部長】①地域と大学生がイベント等を行い交流し、報告会も実施。今後各5地区で「小さな取り組み」事業を月1回5地区持ち回りでを行い、地域の資源（モノ・ヒト）を探っていく。②地域おこし協力隊員は地域の活性化、農林業の応援などグリーンツーリズムにおける地域活動の支援サポートができるが、まだ地域との交流が少ない。市民の理解を深められるよう後押ししていく。③にぎわいの

の森はマルシェ（農産物市場）を開いたり、活動・交流の場として農産物の活用・6次化を進め、グリーンツーリズムと連携し、実践地区への人の流れをつくる。また、地域活性化の効果を高め安定的運営のための重要な拠点となる。



創風会
清水 隆弘

1. 「市」民に「役」に立つ「所」の「市役所」として市職員力の活用を
2. 中学校部活動への外部指導者の活用を問う

【質問1】①人材育成基本方針の変更は。②平成21年度実施の職員満足度調査で66%が満足度であり三重県の60%より高かった。3年から4年で実施したほうが良いと考えるが。③人事評価で管理職の賞与に5%反映するがどれくらいの職員に反映したか。④「いなっぷ」への支援は。⑤第3次定員適正化計画では平成32年度に18人減の341人となっているが、職員削減の見通しは。⑥職員提案制度の要綱化は。

【総務部長】①毎年検討している。②未実施。③ごく一部。④今後も様々な形で支援していく。
【市長】⑤事業の一部を社会福祉

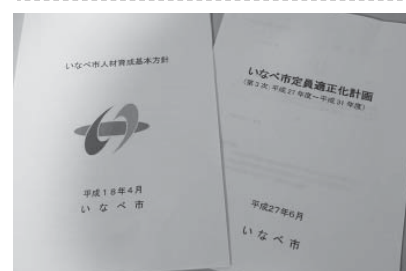
協議会へ移行。⑥自己申告、ヒアリングで対応。

【質問2】①新学習指導要領に部活動と教育課程との関連が明記され、中央教育審議会は平成27年12月「部活指導員（仮称）」の制度化を答申した。今後学校職員として法的に位置づけられそうな状況の中、顧問の競技の経験の有無は。②外部指導者は何人か。③外部指導者の要綱は。④生徒は全員クラブに入部しなければならないのか。⑤外部指導者とのトラブルは。⑥外部指導者の発掘は。

【教育長】①77人中32人が未経験。②バレー、バスケット、ハンド

ボール、柔道、野球、ソフトボール、ソフトテニスの7人。③今後登録制度を新設。④強制ではない。⑤軽微だがあった。⑥東員町も含め教師のネットワークで探す。

※「いなっぷ」は市を楽しいことや面白いことのでいっばいにしたいという思いから発足した、市の若手職員のグループ



市役所の人材育成基本方針と定員適正化計画

1. FMいなべの運営に対しただす

2. 高齢化社会における市の取り組みは



創風会

位田まさ子

【質問1】①FMいなべの初期の問題点は。文化協会に委託したことが、歳出根拠のない4,200万円を払う事になったのではないか。当時の説明が不十分だったため、前総務部長の寄付金があったのか。②新理事長との話し合いの内容は。③新役員等の人事名の公表は。④平成28年度予算の金額と積算根拠。支出科目変更で、市が指導をできることは。覚書、債務負担行為は変更すべきでないか。⑤今後、第3者委員会や専門家の運営指導は。

【副市長】①初期のFMについては、前総務部長が単独で行い、当時市も把握、確認、情報の共有が

できていなかった。全体の経緯をふまえ寄付金をもらった。②収支を明確にし、新たな組織で運営できるようにしたい。③文化協会で閲覧できる。④市も運営の知識がないので平成28年度はイベント費等500万円減額。支出科目を補助金に変え市の監査対象になり、金額の使途をしっかりと確認できる。覚書、債務負担行為の変更は考えていない。⑤今後、検討する。

【質問2】①高齢者社会参画の内容は。②福祉バスの活用重要性は。

【福祉部長】①シルバー人材セン

ターの活用で営業成績4億円と著しい。ふれあい財団、きもと(株)など地元企業で働き元気に活動している。また老人会活動で、地元の力になっている。

【都市整備部長】②限られたバスの台数で有効な活用をしていく。



福祉バス

旧総合福祉センター用地の利活用について問う



創風会

種村正巳

【質問1】土地取得後10余年経過してきた。国の福祉施策が官から民へと流れが変化するなかで総合福祉センター計画は撤回された。用地の利活用をどう進展させていくのか。①用地の概要と面積は。②企業誘致の進展は。③商業用地、教育用地、市の事業用地としての利用、計画は。④市民からのアイデアを公募する計画は。

【都市整備部長】①面積は、2.9ha、簿価2億9000万円。開発公社所有地。現況は桑名建設事務所に建設工事で発生する残土のストックヤードとして使用貸借している。②サラダ・コスモ以降(平

成24年4月)千坪程度の問い合わせあり。③平成30年度完成予定の東海環状自動車道、大安ICに隣接した立地条件で、幅広い活用策を考えていく。現在、アウト・ドア用品を販売のモンベル・ベレージ立山(北陸自動車道立山IC近く)をイメージしている。④公募する計画はないが、提案は聞く。

【市長】③野外活動用地として県民体育大会の運動会場(馬術・サイクリングのロード・レース場等)の整備、ランニングコストと合せて考えたい。物流基地や専門学校等は計画にない。また、東海環状自動車道(大安IC)付近は、いなべ市の東の玄関口として

将来的に発展が望まれる。供用開始と共に近隣を一体的開発につなげていきたい。



旧総合福祉センター用地



政和会

伊藤 正俊

【質問1】青川の残土処分量に対して土地の購入金額、面積が必要だったのか、シャープ(株)に20年間貸すための用地が欲しかったのではと疑問が残る。平成27年9月議会で提案された「青川残土処分用地取得事業」の提案理由は、公共事業の残土を処分する用地をいなべ土地開発公社から市が購入するためとされた。5万1000㎡、約8,400万円で購入した。間違いないか。

【都市整備部長】間違いない。

1. 青川残土処分用地取得の目的を問う 2. 農業公園での堆肥化事業を市の事業に戻す考えは

【質問2】産廃業者に渡した時、草の堆肥化施設は受け入れた草で満杯。10日間で梅の木の敷き藁にし、約6か月で草はなくなった。執行部だけの言い分がまかり通り、市民の要求が無視される。「私たちは税金で給料をもらわず公園を元手にして自分たちが働き、稼いだ金を給料としたい」という老人の意気込みと循環型社会を目指していた町の思いと一緒に刈り草を受け入れた。雇用が生まれ土づくりになり公園にきれいな花が咲き観光客が訪れる。草の処分費は年間3,000万円超え、平成16年には公園は独り立ちした。火事を理由に産廃業者に渡した。もう一度市が処分する考えは

ないのか。

【農林商工部長】梅の木が大きくなり重機で堆肥を撒けなくなり、できあがった堆肥がたまり、火事の原因にもなった。機械の更新や事業費用もかかるため、市で草の処理を再びすることは難しい。



草の堆肥化施設



いなべ未来

岡 英昭

1. 障がい児教育を問う 2. 選挙年齢引き下げによる政治教育は

【質問1】①統合新設される藤原小学校の創立を契機とした小中一貫教育のカリキュラム及び教育行政手順は。②市内の障害をもつ児童生徒の在学状況及びその支援策に差異はあるか。③障がい児の放課後児童クラブの利用状況は。

【教育長】①教育特区や教育課程特例校の指定は受けず、現行の6-3制を維持し、その中で中1ギャップ解消も含め、小中一貫教育を充実させ進める。②市内の小中特別支援学級に119人、県立特別支援学校に39人、私立特別支援学校に5人、聾学校に2人在籍するが、どの在籍生へも同様の補助、支援を行っている。③8カ

所のクラブに193人の小学生が入り、うち9人の障がい児が3カ所で入っているが、夏休み等の長期休暇中は職員事情により預かることができていない。

【質問2】①政治的中立性を保つ教科書採択の現状は。②教員の政治的中立性の確保は。

【教育長】①桑員2市2町で教育長、校長OB等有識者メンバーで採択会議を行い、教科書会社が固定することなく決定し使用している。②社会科教科書の憲法、日本の平和と防衛等意見の対立する学習課題についても法令を順守させ、教員の政治的中立性の確保と

不偏不党の原則を指導していく。



教科書



いなべ未来

鈴木 順子

1. うつ病対策の充実策は

2. 地域包括ケアシステムの現状と課題は

3. 学習支援の現状と課題は

【質問1】①「命の電話相談」の現状と課題。②職員の長期欠席者への対応は。③心の状態をセルフチェックできる「心の体温計」の導入は。

【福祉部長】①9割が女性、健康問題が多い。メンタルパートナー養成研修を市民向けに行い、相談しやすい環境づくりに取り組む。

【総務部長】②メンタルヘルス対策として、予防・早期発見・早期治療・職場復帰支援・再発防止の取り組みを実施。

【健康こども部長】③他の啓発手段の費用と比較検討する。

【質問2】①初期集中支援チームの進ちょく状況と課題、また認知症サポーターとの連携は。②市内の介護サービス事業者数、また現場の把握や市との連携と今後の課題は。③在宅医療、介護連携の体制について現状と問題点は。

【福祉部長】①平成30年設置を目標にしているが、専門医の不足が課題。地域の見守り・支援などサポーターとの連携を深める。②79事業所。サービス内容・情報の公表が義務付けられ、市は運営を把握し、各種連絡会を設置。③市内の開業医の高齢化、新規開業医が見込めない。

【質問3】①訪問支援の利用者の現状と今後の課題。②教室支援の現状と課題、拡充について。

【健康こども部長】①6件の利用。様々な時間帯に対応するサポーターが少ない。

【教育部長】②阿下喜小学校で52人の生徒が受講。平成28年度は三里小で実施。今後予算の確保とアドバイザーの確保が課題。



認知症サポーター養成講座

1. 市長の政治姿勢、手法を問う

2. 暮らしと命を支える施策は

3. 未来につなぐ施策は

【質問1】(1) 防災情報システム。①議会承認無しで工事変更が行われた原因は。②市長の責任は。③事前に計画の全体像を議会に示すべきでは。(2) 新庁舎建設。①再度の説明会は合意不足だったからでは。②説明会では、「財政計画は間違っていたから削除した」との答弁だったが、丁寧な説明はなかったのでは。

【市長】(1) ①職員の認識不足と組織の管理不足。②最高責任者として深く反省。(2) ①説明会、マスコミ等で説明し、市長選挙で一定の合意。②財政計画は、基金と一般財源を混同していたので「過り」と説明した。

【副市長】(1) ③予算要求時にしっかりと説明する。

【質問2】(1) 生業をつくる施策は。住宅リフォーム制度は、桑名市で補助金額の16倍以上の工事があり、波及効果が大きい。工事費の1割、10万円を限度に1,000万円の補助事業を組めば、100件以上、1億6000万円以上の需要が起こる。実施しては。(2) 地震に際し、水道は、あらゆる応急対策の前提。配水池への緊急遮断弁設置が平成33年度末完成で良いか。

【市長】(1) 耐震を優先する。
【水道部長】(2) 財政状況に見合っ

た計画。

【質問3】(1) 教育の一環として学校給食費の無料化の考えは。(2) 誘致した企業が安心して働ける環境かの確認は。

【教育部長】(1) 相応分の保護者負担が必要。

【都市整備部長】(2) 立地協定を結び、人権が尊重される職場環境の確保を明記。



拡声子局



無会派

清水 実

【質問1】県と市、及び保護団体や企業との協働でどんな方法で実施するのか。その予算の確保は。

【教育長】鈴鹿国定公園であり、管理責任は農林水産部みどり共生推進課の指導のもとで実施しているだけで、予算はない。教育長として秋に一度、生育地に行った。

1. ハルザキヤマガラシの駆除は
2. 藤原岳自然科学館の移転計画は
3. 継続事業である藤原鉱山アセス結果の標本譲渡を問う

【質問2】藤原岳自然科学館の移転計画は。館長及び運営委員の職務は。

【教育長】小学校の開校問題に専念しなければならない。科学館の移転については、多方面の人からの意見を聞いて、よく検討したい。館長及び運営委員については、非常勤職員として勤めてもらう。



ハルザキヤマガラシ

【質問3】三重県環境保全事業団体が藤原鉱山アセス結果のすばらしい標本譲渡について。

【教育長】藤原岳で採集できた貴重な標本であるが、現在いなべ市には、標本の適正な保存管理ができる施設がないため、現時点では譲り受けることは難しい。県の総合博物館と相談して、適正な保存・管理の方法を考えて行かなければならない。



無会派

渡邊忠比古

1. マイナンバー制度の準備を問う
2. 生活道路の予算化は
3. ツアー・オブ・ジャパンの開催準備は

【質問1】①より公平な処分をするために内部規則を作っては。②12桁の数字で財産、医療、税が管理される。重要さの認識は。

【市民部長】①番号法の罰則規定を準用する。②取り扱う部署は情報管理のため、研修会、理解度確認試験を実施する。個人負担資産を把握し行政サービスを支援し、不正受給、不当負担をなくす。

【建設部長】県で平成28年度予算化された。今後、白線、ゼブラ帯、側線工事を行う。

【質問3】①コース見回りの結果、畑毛本郷線下相場地内において側溝にふたがなく危険であり、対策を求める。②ポスターはいつ頃できるか。また、自治会に届くのは。③協賛社は増加したか。特典は。

【農林商工部長】①要望はしている。予算がなくできない。②3月にできる。ポスター1,100枚、チラシ4万枚。4月7日より配布開始。ポスターは商工観光課で掲示用なら個人的にもらえる。③18社から19社に増える。協賛社への特

典は、5万円未満は梅林公園観戦席。5～10万円未満はポスターに企業名と横断幕。10万円以上はメイン会場にブースを用意。オリジナルTシャツ。10万円以上はすべての特典を受けられる。



ツアー・オブ・ジャパン

【質問2】平成26年に自治会から要望のあった、県道畑毛本郷線、時下野尻線日内区の白線、ゼブラ帯、側線の引き直し等の工事の予算化は。一昨年地域自治会からの要望あり。



無会派

川瀬 幸子

1. 地域活性化の取り組みを問う

2. 教育行政について問う

【質問1】生涯現役、生きがいを持つ「小さな拠点」の形成の考えは。

【企画部長】地域から要望があったら「小さな拠点」も含めた地域づくりを支援する。

※「小さな拠点」とは、小学校区など複数の集落が集まる基礎的な生活圏の中で、分散している様々な生活サービスや地域活動の場などを「合わせ技」でつなぎ、人やモノ、サービスの循環を図ることで、生活を支える新しい地域運営の仕組みをつくろうとする取り組み。

【質問2】(1)教育補助機材、ICTの利用状況は。(2)地域の要望で、こども家庭課の支援を受け、藤原町に平成16年7月放課後児童クラブを立ち上げた。①放

課後児童クラブの委託料と利用料金は。②市へ報告している利用料金以外にもおやつ代などがいる。県外では料金は3,000円から5,000円のところが多い。市と委託契約がない放課後児童クラブは6,000円である。放課後児童クラブを利用したいが、料金が高いので利用できない。料金の指導はしないのか。

【教育部長】(1)平成21年度から電子黒板を導入し、現在49台ある。平成28年度も増やす。また、タブレット端末の利用を十社小学校で行う。(2)①国の基準においての委託で、委託料2,172万1000円。利用料金は、8クラブのうち、市

が委託契約をしている7クラブで1万円から1万5000円。クラブの事情で利用料が決められ、個々の料金は言えない。②平成27年度は国の補助基準が前年度に比べ上がり、委託金額が大幅に増額。市の単独補助もある。国の委託料も上がり、各クラブの集まりで利用料金について検討してもらえと思っている。



放課後児童クラブ

市民の声

クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見や感想を紹介します。

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで、わかりやすく読みやすいです。過去に行われた一般質問が市政にどう活かされたかがわかる。「過去の質問どうなった？」を毎号掲載していただくと嬉しいです。市議会議員全員(20人)で「新庁舎建設特別委員会」を構成されていますが、徹底的に議論を深め、叡智を集め、華美にならず、どんな人でも利用しやすく、様々な災害にも対応できる「新庁舎」を建設するために、議会から(市民の声を)提言されることを期待しています。

80歳 女性 (同趣旨のご意見が他2人からありました)

◎ 議会では予算を有効に活用しており、市長の積極的で前向きな考えはとても良いと思う。これからの活躍に期待し、見守っていきたく思います。

79歳 男性

◎ 議員の皆さん、今年もよろしくお願いします。

62歳 男性 62歳 女性

◎ いなべ市議会だよりINABEの表紙、裏の写真、良いアイデアだと思う!!

77歳 女性

◎「INABE」で議会のことがよくわかります。表紙もとても良いです。新庁舎の「にぎわいの森」について、いなべの田舎の良さを生かしつつ、おしゃれなところにしてください。いなべにはおつかい物(土産)にするような、これといったものはありません。少し日持ちのする、美味しいものを、この機会に作ってほしいです。

64歳 女性

◎ 写真も大きく写して下さり私たちにもよく分かります。いなべのために頑張って下さり有難う(身体を大切に)

75歳 女性

◎ 後期高齢者です。住みよいいなべ市にしてください。

76才 男性

◎ おめでとうございます。新議員様、今年もがんばって下さい。「きたい」しています。

68歳 女性

◎ いなべ市議会だより、とても見やすく端から端まで読ませていただきました。編集委員さん方々応援しています。頑張って下さい。お願いします。いなべ市のために尽力をよろしくお願いします。

女性

◎ 議会開催日は何日で、市民であれば見学可能か。

76歳 男性

※議会だよりに掲載しています。

◎ 議会だよりいつも読ませていただいています。

70歳 女性

◎ 新庁舎、藤原小学校、ほくせい保育園等いなべ市が新しくなる事は大変うれしく思います。（十社はちょっとさみしくなるのが……）これからも議員さんたちに期待しています。 67歳 女性

◎ 図書館をよく利用させて頂いています。毎月楽しみに致しています。 78歳 男性

◎ 市議会だより毎号拝読しています。写真やイラストで分かりやすく読みやすいです。議員さんの活躍良くわかります。 71才 女性

◎ 市議会の様子家に居ながら知ることができ、折りにふれ読みかえています。 76歳 女性

◎ 18歳になったら投票できるようになりました。その時になってあわてないよう少しでも関心がもてられればと思うようになりました。僕たちが大きくなり「20歳」になったらとたんに税金や年金やら、たくさん支払って生活ができなくならないか心配です。 15歳 男性

◎ 議会だよりINABE表紙素敵です。さっそく読みたい気分になります。議員さん市民にいいこと言ってみえるが、不便な所では実現してくださるようには見えません（もうすこし光を） 71歳 女性

◎ 訪問レポート、カラーでわかりやすく面白い内容でした、今後も身近にある話題だと読みやすいと思います。 36歳 女性

◎ クイズからさかのぼって紙面を読み切る。こんな方法ですか。興味をもって拝読しています。分かりやすいです。 30歳 女性

◎ FMいなべについて。1. あまり魅力を感じません。番組の放送より、いなべ市の情報を放送してほしい。（緊急時だけでなく）2. 「新庁舎建設に問う」は良くわかりました。 69歳 女性

◎ 見やすい表紙に感激しています。明るい社会にしたいだけですようによろしく願います。 27歳 男性

◎ 私たち市民の代表として、いなべ市を住みよい街づくりにと頑張っていて下さるのをいつも読ませてもらっています。一層の努力をお願いします。 74歳 女性

◎ 今まであまり熟読したことがなかったが、クイズを解くために今回は読みました。これを機に読ませていただきます。 68歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。執行部とのなれ合いを廃して競い合うといった趣旨で議会の役割を再定義し、公開度を上げて説明責任を果たすなど、活性化のための運営ルールを定めることが特徴となっている、議会のあり方を市民に対して宣言する、議会の「最高規範」といえる「議会基本条例」制定を目指す、「議会改革検討特別委員会」の活動に期待します。クイズも楽しいですが、クロスワードパズルなどを毎号掲載していただくと嬉しいです。 53歳 男性

◎ 毎回いなべ市議会だよりを拝見するのが楽しみです。これからも頑張って下さい。 65歳 女性

◎ クイズの答え「いなべ」を正確に見つけるために必死で最後まで読んで、いよいよ終わりの編集後記で探し当て、ほっとしたと同時になかなか（意地の悪い出題だなあ）と思った。誤字がなくて気持ちよし。

※「にぎわいの森」で人を寄せる構想ですが、果たして永続的ににぎわいを保てるのか……疑問が大きい。

82歳 男性

◎ 旧庁舎はどうするかの問いに貝弁庁舎は図書館と総合窓口にとの回答、図書館ができうれしいです。

75歳 女性

◎ 市民とふれあい、参加してもらえるページ、今後も楽しみにしています。 70歳 女性

◎ 新庁舎が出来ると役所に提出する書類等があると、今より遠くなるので、不便になると思うが、書類の提出（出生届、保育園入園等）は、どう考えていますか？

4歳の保護者

◎毎号、議員さんの声が詳しく載せられており、市の情報がよく分かります。 65歳 女性

◎ 私は定年後も会社で働かせて頂いています。サラリーマンは祝日や土曜、日曜はお休みのため、役所などは休んで行かないといけません、新庁舎が出来たら休日専用の窓口を月に1回でもよいので、休まず手続き出来るようにしていただきたいと思います。パトロールも議員さんの目で見いただければ地区で困っている所や改善しなければいけない所が分かってもらえると思います。住民のみなさんが住みやすくなれば若者もおのずといなべが好きになると思います。 61歳 男性

◎ 新庁舎が建設されるそうですので今から楽しみにしております。 75歳 男性

◎ 市に温水プールを設置してほしい。 59歳 女性

◎ 議員の皆さんにはお世話になります。 11歳 女性

◎ 議員の皆さまご苦労さまです。 13歳 男性

◎ 構成がQ&Aで読みやすく理解しやすい。 68歳 男性

◎ 藤原町の旧校舎をうまく活用してほしいです。 33歳 男性

3月議会で新副市長に吉田 桂治 氏を同意

平成 28 年 3 月末日で前副市長の吉野睦氏が国土交通省に戻り、新たに国土交通省から吉田桂治氏が派遣され、副市長に就任しました。



クイズ当選者

ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は 問 1 議会(改)(革)検討特別委員会

問 2 (ジ)(ャ)(ン)(ボ) かぼちゃ

問 3 ツアー・オブ・ジャパン(い)(な)(べ)ステージ

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

小原一色	水元 俊久 様
北 金 井	石川 節子 様
一 色	伊藤 直幸 様
麻 野	杉坂 節子 様
新 貝	井後あさ代 様
出 口	伊藤 英子 様
川 原	近藤 秀子 様
大泉新田	川添みな子 様

本 郷	大鹿 進 様
楚 原	今井 律子 様
中央ヶ丘	飯田 翔太 様
麻 野	伊藤 頼子 様
上 相 場	林 典子 様
楚 原	清水 里美 様
赤 神 1	林 清廣 様

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

6月定例議会（予定）

- ◆開会日……………6月 3日(金)
- 一般質問……………6月 9日(木)
- 6月10日(金)
- 総括質疑……………6月14日(火)
- 総務常任委員会……………6月15日(水)
- 教育民生常任委員会……………6月16日(木)
- 産業建設常任委員会……………6月17日(金)
- ◆閉会日……………6月21日(火)

市議会では本会議の開催日に傍聴席を開放しています。お気軽にお越しください。
(受付場所：いなべ市役所大安庁舎 2階ロビー)

市議会のホームページから本会議の生中継をご覧いただくことができます。
また、議事録も公開しています。

編集後記

議会では新庁舎建設に関する問題のなかで「にぎわいの森」について、関心も高く、また、FM放送においても真剣に議論されました。

本会議の傍聴者は、まだまだ多くありませんが、本会議の生中継はホームページからもご覧いただけます。

議事録も公開していますのでご覧ください。

訪問レポート 中里小学校



～花を育てるのではなく、花で人を育てる～ 45年の取り組み
学校、家庭、地域が花づくりをもとにつながり合える中里小学校

全校生徒51人で咲かせるたくさんの花。
花づくりと共に大きく成長していきます。



種から育てていきます。お家の方、学援隊の人々にも助けをいただきます。今年の発芽率は平均65%で、算数の勉強にも役立ちます。

花づくりの活動を通じて高学年のリーダー性が育ちます。作業をするうち、人と人とのやり取りが盛んになります。



夏休みの水やり当番は大変です。

花の発表会や引き継ぎの会、高学年から順に受け継がれていきます。

学援隊のみなさんにも休日の水やり、移植などお手伝いいただいています。



毎年5年生が中心となって進めます。そして、来年は学校のリーダーに。

運動会の「みんなでマイマイム」の大きな輪は、学校と家庭と地域のつながりが実感できます。中里小は季節に応じ地域の皆様に支えていただいています。

花のコンテストの審査官の質問の数々にしっかり答え、「花づくりは大好きです」と元気にアピールする子どもたち。色んな力がついたことを感じます。

